

承認番号	2020-109
研究課題名	再肝切除術における過去手術時の癒着防止材使用が腹腔内癒着に及ぼす影響に関する後方視的観察研究-多施設共同研究-
研究の意義・目的	本研究では、肝切除を受けた患者数が多い2施設から再肝切除（2回の肝切除術）を受けられた患者さんの治療経過を調べます。再肝切除を受けられた際に、1回目の肝切除時の癒着防止材使用の有無による手術中の所見や術後の経過を比較し、また、開腹手術と腹腔鏡下の肝切除を受けられた患者さんの手術中の所見や術後の経過を比較する事で、癒着防止材の意義と有効な使用法を明らかにします。これらの検討から、適切な癒着防止法を決め、手術の安全性向上を目指します。
研究を行う期間	承認日～2022年3月31日まで
研究対象者の範囲	2010年4月1日から2020年3月31日までに大阪市立大学医学部附属病院肝胆膵外科で再肝切除（2回目の肝切除）が行われた方が対象です。
お願いする内容	共同研究機関に頂いた情報を提供します。 大阪市立総合医療センターが共同研究の代表施設として研究いたします。 患者背景（年齢、性、基礎疾患、既往歴など）、臨床検査値、画像検査所見、手術記録、手術ビデオ、術後経過、術後長期成績
頂いた試料・情報の提供方法	特定の個人を識別できない形で提供します。
頂いた試料・情報の管理について責任者	大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵外科学 田中肖吾 大阪市立総合医療センター肝胆膵外科 金沢景繁
この研究を行っている施設（共同研究機関）	大阪市立総合医療センター肝胆膵外科 部長 金沢景繁
代表施設のURL	大阪市立総合医療センター <a href="http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh">www.osakacity-hp.or.jp/ocgh</a>
研究の成果を公表する方法	学会および論文発表を行う。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵外科学 Tel 06-6645-3841 田中肖吾